

食品添加物・除菌剤

ハイポライトM

(次亜塩素酸ナトリウム製剤)

ハイポライトMは、次亜塩素酸ナトリウムを含む淡黄緑色～黄色の液体で有効塩素濃度6%(ハイポライトM6)、10%(ハイポライトM10)、12%(ハイポライトM12)の3種類の製品があります。

次亜塩素酸ナトリウムの除菌、漂白、消臭作用を利用し、調理場等での食器・器具類やフキン等の除菌、漂白、消臭剤として幅広い範囲で御利用いただける製品です。また、レジオネラ菌にも有効です。

ハイポライトMの特徴

1. 除菌作用が強力でしかも迅速です。
2. 使用方法が簡便で価格も他の製剤に比して廉価です。
3. 除菌作用の他に漂白・消臭等の作用もあります。

ハイポライトMの使用法

① 飲料水に対する使用法 (簡易水道、井戸水)

ハイポライトMを下記の表の割合で投入すれば、すみやかに、除菌されます。

◆水200Lに対する使用量(有効塩素濃度 0.5～1.0ppm)

	薬液使用量	希 釈 倍 数
ハイポライトM6	1.6～3.2mL	6万2,500倍～12万5千倍
ハイポライトM10	1.0～2.0mL	10万倍～20万倍
ハイポライトM12	0.8～1.6mL	12万5千倍～25万倍

投入量は水質等により、多少の変動がありますが、残留塩素が常に0.1ppm以上になるようにして下さい。

② 野菜・果物に対する使用法

野菜等を水洗いした後、ハイポライトMを下記の表の割合で調整し、その液に5～10分間浸し、流水で洗って下さい。

◆水1Lに対する使用量(有効塩素濃度50～100ppm)

	薬液使用量	希 釈 倍 数
ハイポライトM6	0.8～1.6mL	625倍～1,250倍
ハイポライトM10	0.5～1.0mL	1,000倍～2,000倍
ハイポライトM12	0.4～0.8mL	1,250倍～2,500倍

③ 食器・器具類に対する使用法

食器類はよく水洗いした後、ハイポライトMを下記の表の割合で調整し、5～10分間浸して下さい。

◆水1Lに対する使用量(有効塩素濃度100ppm)

	薬液使用量	希釈倍数
ハイポライトM6	1.6mL	625倍
ハイポライトM10	1.0mL	1,000倍
ハイポライトM12	0.8mL	1,250倍

食器棚や、その他の調理器具は上記の液で洗い流すか、よく拭いて下さい。

④ プール・公衆浴槽に対する使用法

ハイポライトMを下記の表の割合で均一に散布しますとプールの汚れが特にひどくなくなれば、残留塩素濃度が0.4～1.0ppmとなりプールの使用が可能になります。

プール使用中は2～3時間毎に残留塩素を測定して0.4～1.0ppmになるように調節して下さい。

公衆浴槽水のレジオネラ菌対策には1日2時間以上0.2～0.4ppmに保つようにして下さい。(平成13年厚生労働省健衛発第95号) また、病原性アメーバもレジオネラ菌対策と同じ方法で防げます。

◆初回に投入するハイポライトM量(L)

プール・公衆浴槽の水 量	薬液量 (カッコ内は追加投入量として0.1ppm上昇させるための量)		
	ハイポライトM6	ハイポライトM10	ハイポライトM12
10 m ³	64～160mL (16mL)	40～100mL (10mL)	32～80mL (8mL)
250 m ³	1.6～4.0L (400mL)	1.0～2.5L (250mL)	0.8～2.0L (200mL)
300 m ³	2.0～5.0L (500mL)	1.2～3.0L (300mL)	1.0～2.5L (250mL)
2,000 m ³	12.8～32.0L (3.2L)	8.0～20L (2.0L)	6.4～16L (1.6L)

プールの足洗槽、腰洗槽の除菌は残留塩素が50～100ppmになるように本品を投入して下さい。なお、使用後のプール水・浴槽水の廃棄放流には、残留塩素を調べ大量の水でうすめるか、チオ硫酸ナトリウムで中和して濃度を低くして(0.1ppm以下)、放流して下さい。プールに藻が発生した場合には、初回の投入量の2倍量を投入しますと翌朝には完全に除藻できます。

⑤ 漂白と除菌

白木綿、白麻(白衣、包帯、シーツ等)の漂白・除菌には、洗濯後、下記の割合に調整した液に20～30分間浸した後、よく水洗いして下さい。なお柄物や合成せんいには使用しないで下さい。

インキ、血液、果汁、コーヒー、汗、しょうゆ、ソース等によるしみ抜きには、本品の500～1,000ppmの溶液で漂白・除菌後によく水洗いして下さい。風呂場等のカビも本液で簡単にとることができます。

◆水1Lに対する使用量(有効塩素濃度100～200ppm)

	薬液使用量	希釈倍数
ハイポライトM6	1.6～3.2mL	312～625倍
ハイポライトM10	1.0～2.0mL	500～1,000倍
ハイポライトM12	0.8～1.6mL	625～1,250倍

⑥ 消臭と除菌

なまものを調理したマナ板、包丁、フキンやゴミ容器等の消臭・除菌には有効塩素濃度500～5,000ppm溶液を用いて洗浄、若しくは清拭して下さい。また、牛舎、鶏舎、豚舎等の消臭・除菌には有効塩素濃度200ppm溶液を用いて洗浄して下さい。

7 酪農とハイポライトM

酪農関係の器具、輸送カン、搾乳バケツ、搾乳機器、濾器、濾布等の除菌は有効塩素濃度200ppm溶液をご使用下さい。

8 希釈液の作り方

◆水1Lに対するハイポライトMの使用量

有効塩素濃度	1 ppm	10ppm	100ppm	200ppm	1000ppm
6 % (M6)	0.016mL 6万2,500倍	0.16mL 6,250倍	1.6mL 625倍	3.2mL 312倍	16mL 62.5倍
10% (M10)	0.01mL 10万倍	0.1mL 1万倍	1 mL 1,000倍	2 mL 500倍	10mL 100倍
12% (M12)	0.008mL 12万5,000倍	0.08mL 1万2,500倍	0.8mL 1,250倍	1.6mL 625倍	8 mL 125倍

9 使用上の注意

- (1) 酸と接触すると猛毒ガス(塩素ガス)を発生しますので、酸と接触しないようにして下さい。
- (2) 高濃度液が長時間皮膚に接触すると、刺激作用があり、皮膚炎や湿疹を起こしますので、保護手袋等を着用し、皮膚に接触しないようにして下さい。
- (3) 高濃度液が目に入ると角膜が侵され、失明や視力低下の恐れがありますので、保護メガネ等を着用して下さい。
- (4) ミストを吸入すると気道粘膜を刺激しますので、換気に注意し、必要に応じて保護マスク等を着用して下さい。
- (5) 金属を腐蝕しますので、金属器具類には使用しないで下さい。
- (6) 染色物、絹織物、毛織物、皮革類には使用しないで下さい。
- (7) 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- (8) 開封後は速やかにお使い下さい。
- (9) 使用後はフタをよく閉め、保管して下さい。
- (10) 箱からロンテナー容器(内袋)を出して使用した場合は、直ちに元の箱に収納し、保管して下さい。
- (11) 胡麻には使用しないで下さい。
- (12) 使用後洗浄できるものは流水で洗って下さい。

10 保管方法

直射日光をさけて、なるべく涼しい所に保管して下さい。

ハイポライトMの包装単位

◎500gは、10%

◎20kgは、6 %、10%、12%

ハイポライトMの使用には必ず測定器を常備して残留塩素量を確かめて下さい。